

# はたらくネット

平成23年10月

編集・発行 仙台市障害者就労支援センター

仙台市障害者就労支援センターは、  
障害のある方が働くことについて様々なお手伝いをします



**雇用したい企業の皆様に…**

- ・ 障害者雇用のノウハウの提供
- ・ 職場の分析と仕事の切り出し
- ・ 障害者雇用情報の提供と制度の活用提案など

**就労支援をしている関係機関  
に対して…**

- ・ 職場体験実習や見学情報の提供
- ・ スキルアップの研修機会提供など

**障害のある方に…**

- ・ 履歴書の添削
- ・ 求人票の検討
- ・ 仕事や職業生活の継続に必要な支援など

東日本大震災から半年がすぎました。大きな被害を受けた沿岸部でも、事業所の再開に向けての始動が伝えられるなど、復興の途につきつつあります。

仙台市では、「仙台市震災復興計画」において、「絆と協働による安心と再生を目指すことを謳っています。機を同じにして障害者虐待防止法が平成23年6月17日に成立、障害者基本法が平成23年8月5日に一部改正され公布など、障害者を取り巻く状況も変わりつつあります。

こうした状況に応じて、仙台市障害者就労支援センターは、皆さんとともに「絆と協働」を求めて一歩踏み出し歩みたいと考えています。

仙台市障害者就労支援センター 所長 諸橋 悟

目次：企業に聞きました「東洋ワークグループ株式会社クリーン&クリーン」	・・・ 2～3ページ
クローズアップおっきな輪 「仙台ワークキャンパス」	・・・ 4ページ
あなたにとって「はたらく」とは？	・・・ 5ページ
センターこんなことやってます 「就職活動サポート講座」	・・・ 6ページ
連絡会議開催しました！	・・・ 7ページ
～報告～、「センター利用案内」	・・・ 8ページ

# 企業に聞きました

## 東洋ワークグループ 株式会社クリーン&クリーン

業務担当 鴫田 喜一（ときた きいち）さんにお話しを伺いました！！

### ・企業概要

株式会社クリーン&クリーンは仙台市宮城野区蒲生の工業団地の一角、JR陸前高砂駅からは徒歩 15 分くらいのところにあります。

人材派遣等の事業を展開する東洋ワーク株式会社が買い物かごなどの洗浄事業を平成 5 年 10 月に開始し、平成 22 年 3 月に特例子会社（※ 1）として株式会社クリーン&クリーンを設立しました。

主な事業内容として、野菜などを入れる折りたたみコンテナや買い物かご、パレット等のプラスチック製品の洗浄及び委託事業のほか、買い物カートの清掃、修理などを行っています。

現在、社員は 40 名。内、障害がある従業員は、知的障害のある方 15 名、聴覚障害のある方 2 名、身体障害のある方 1 名の計 18 名です。

### ・障害者雇用のきっかけ

初めて障害のある方を雇用したのは平成 7 年。当時、工場の近くに住んでいた知的障害のある方を工場で働かせてほしいという話があり、その方を受け入れたのがきっかけでした。平成 11 年に扇町から蒲生に工場を移転した時は、2 名の障害のある方が働いていましたが、折りたたみコンテナの洗浄の仕事も増え、人手も足りなくなったため雇用を増やす事を検討。同じ作業の繰り返しという作業内容の特徴から、障害のある方に向いている作業と判断し、仙台市障害者就労支援センターの支援を受けながら職場見学、体験実習を経て 7 名採用しました。



【買い物かごを洗浄する様子】

### ・雇用するにあたっての社内整備・助成金の活用

障害のある方を 7 名採用した際に重度障害者等通勤対策助成金を活用し、従業員の通勤手段を確保する為にバスを購入しました。また、同じ助成金を活用し、そのバスの運転手を雇用しました。さらに、業務遂行援助者を配置し、作業施設設備の助成金を活用して、洗浄する機械を購入しました。そして、コンサルタントも 1 名配置と、様々な制度を活用し、障害のある従業員が働きやすい職場環境を整えました。

#### ※ 1 特例子会社とは

障害者雇用率制度においては、障害のある方の雇用機会の確保（法定雇用率＝1.8%）は個々の事業主（企業）ごとに義務づけられています。一方、障害のある方の雇用の促進及び安定を図るため、事業主が障害のある方の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、実雇用率を算定できることとしています。

また、特例子会社を持つ親会社については、関係する子会社も含め、企業グループによる実雇用率算定を可能としています。（厚生労働省ホームページ 「特例子会社」制度の概要引用）

## ・障害のある方を雇用をする中で大切にしていること

職務内容について一人ひとりの特性に合わせて配置し、随所で4名の指導役の職員がサポートをしています。聴覚障害のある従業員に対しては、普段はメモや身振りで指示を出していますが、重要な話や確認がある場合には、仙台市障害者就労支援センターと手話通訳者に支援を依頼して正しい情報を提供するよう心がけています。

障害のある従業員を長く雇用し続けるためには、関係機関との連携が大切であると感じています。会社だけではなかなか生活の部分での悩みを解決することは難しいので、支援機関と企業の役割分担が大切だと思い、現在も生活支援機関、就労支援機関、家族とも密に連絡を取りあっています。また、会社としても年2回程度、従業員の家族を含めた懇親会を開くなど会社と家族、家族同士の情報交換の場をもつことを心掛けています。結果、工場で働く従業員同士の仲間意識が強まっています。

## ・震災時の状況と現況について

2011年3月11日の東日本大震災の時は、工場内に積み立ててあったコンテナは全て崩れました。しかし、聴覚障害のある従業員を知的障害のある従業員が誘導するなどし、一人も怪我をすることなく無事に避難できました。津波が工場入口まで押し寄せ、周りは水没した車でいっぱいでしたが、工場内にあったものや車などを安全なところへ移動させたため被害はありませんでした。当日は、水が引くまで、事務所2階の休憩室で、社長が準備してくれたおにぎりを食べながら過ごしました。

震災9日後から工場内の片づけ作業を障害のある従業員と共に行いましたが、中には電話等不通でしばらく連絡が取れなかった従業員もいました。給料も払えるかわからない、工場自体続けられるかどうかかわからない、バスも動いていないという状況だったにもかかわらず、JR陸前高砂駅から工場まで歩いて出勤してくれてとても助かりました。

現在も業務量が少なく、工場はまだ本格稼働はできていない状態ですが、障害がある、無しにかかわらず働く場は確保していきたいという強い気持ちを持っています。

## ・知的障害のあるAさんにお話を聞きました！

「仙台市障害者就労支援センターの支援を受けて株式会社クリーン&クリーンに就職しました。現在はパレット洗いや折りたたみコンテナの検品、機械で買い物かごを流す仕事をしています。水場の手間がかかる仕事が多いため大変ですが、任された仕事が完璧にできたとき、達成感を感じます。」



【株式会社クリーン&クリーンで働く従業員の皆さん】

## ・最後に

～これから就職を目指す方へ～

面接はいっぱい受けてください。常にハローワークや仙台市障害者就労支援センターなどに行き、求人情報をこまめにチェックすると思います。以前より働く場は広がっていると思うので、失敗したらまた次を見つける気持ちで頑張ってください。

～企業の担当の方へ～

障害のある方と接したことがないということで躊躇している企業は多くあると思います。障害のある方には、とにかく何事でもまずは取り組んでもらうこと。それぞれ、得意、不得意はあると思いますが、できることは多くあります。最初はできないこともあるかもしれませんが、長い目で見ることでその人にあった仕事が見つかると思います。少しでも障害のある人たちの働く場を確保してほしいと思います。

～障害のある方を就労を支援するスタッフへ～

企業に顔を出し、雇用を促すような働きかけを積極的にしてほしいと思います。

# クローズアップおっきな輪



仙台市障害者就労支援センターでは、就労移行支援事業所等の関係機関との連携を密に図り、就労を目指している障害のある方、または、現在働いている障害のある方の支援を行っています。

その一環として、機関誌で様々な就労移行支援事業所の特色や就労移行支援事業所から就労した方についてシリーズで紹介していきます。

今回は、「社会福祉法人 共生福祉会 仙台ワークキャンパス」さんを紹介します！



仙台ワークキャンパス

住所：仙台市太白区袋原5丁目12-1

電話：022-741-0998

開所日：月～金

就労サポートセンター開所時間：9:20～15:00



【仙台ワークキャンパスのみなさん】



【職業指導員 しぎの ゆきお 嶋野祐希さんと

就労支援員 かとう れいこ 加藤礼子さん】

## 「就労支援員 加藤 礼子さんに話を聞いてきました！」

仙台ワークキャンパスは、平成21年5月に開設しました。仙台市太白区袋原の、のどかな住宅地の一角にあります。

就労支援を行っている就労サポートセンターでは一般就労に向けたビジネスマナーや、就職した際に役立つボールペン字講座などを行っております。現在の登録者は7名。主に身体障害のある方や、重複して知的障害のある方が多く、18歳から21歳の若い方が通所されています。特別支援学校から通所に繋がる方が多いです。スタッフは、就労支援員が1名、職業指導員1名、生活指導員1名、事務部長1名の計4名です。

## 🐘🐘🐘🐘 教えて！Q&A 🐘🐘🐘🐘

Q1：利用者からの相談はどのようなものが多いですか？

A：余暇に関する相談を多く受けます。もう少し就職活動の相談が増えて欲しいのが本音ですが、本人の就職に対する姿勢を変化させようと意識的に工場見学など仕事に関わる機会をプログラムに盛り込んでいます。

Q2：一般就労した方の人数と、就労後のサポートについて教えてください。

A：今年2月に、縫製会社に就労が決まった女性がいます。就労後1ヵ月は職場から社会人としてのマナーについて様々なご指摘を受けることも多く、本人と電話、メールでのやり取りと、就労先へ訪問し定着支援を行いました。半年経った現在では、仕事は素晴らしい出来栄で職場のスタッフが驚く程です。本人はこの仕事にやりがいを持って働いています。また、6月にもクリーニング店に1人就労しました。その方に対しては就労する前に仙台ワークキャンパス内でタオルをたたむ練習など実践的な作業で準備をしました。就労したあとは順調に勤務しており、現在はメールのやり取りや、定期的に訪問するサポートを行っています。



# 特集：あなたにとって「はたらく」とは？



当センター職員一人ひとりに「はたらく」理由を聞いてみました



1 支援員（相談担当） 「自分を育ててくれた社会への恩返し的手段」	齋藤 真理	今まで受けてきた教育など社会からの恩恵を仕事や納税で返していきたいと思っています。
2 支援員（相談担当） 「磨・為・食・迷・高」	佐藤 明里沙	一言ではとても言い表わせません。だからこそ、「やりがい」もあるのかなとも思っています。
3 支援員（相談担当） 「豊かな生活を送りたい為に働いています」	新井 弘美	旅行をしたり、おいしいものを食べたりするため。また働くことによって人とのつながりの大切さを実感できます。そのために働いています。
4 ジョブコーチ 「日々、勉強です」	木村 緑	毎日新しい発見があり、勉強することが沢山あるなど実感しています。成長できるよう「日々勉強」で頑張ります！
5 支援員（職場開拓担当） 「社会との関わり」	貫洞 正一	働くことで社会での自分の存在を確認できるから。
6 所長 「みんなで協働・共生」	諸橋 悟	人は、仲間なしでは生きられません。みんなが協力することで社会は成り立ちます。働く事で分かち合っ共々に暮らしたいと思っています。
7 支援員（相談担当） 「人との出会い」	上林 貴恵子	仕事を通して色々な人と出会う中で、刺激を受けたり、学ぶこともあったりと自分自身成長できると思っています。
8 主任支援員 「愛する夫と娘とおいしいものをお腹いっぱい食べるため働く」	馬場 美和	働いてお金をもらってごはんを食べる。当たり前だけど、大事な事だしありがたいことだと思っています。
9 支援員（相談担当） 「スキルUP」	齋藤 百恵	自分のスキルを上げていくため。仕事をして様々な人と関わることで成長させて頂いていると実感しております。
10 主事 「成長」	小松 美穂	仕事を通して、人間として自分を成長させたいため！
11 支援員（職場開拓担当） 「好奇心」	宮城 弘幸	日々の当たり前とおもっている出来事も新たな気持ちを持ってみると、新鮮で好奇心を刺激されます。好奇心は私の原動力だと思います。

仙台市障害者就労支援センターの職員の「はたらく」理由はこのようにいろいろな理由がありました。「はたらく」理由は一人ひとり違いますね。今後、仙台市障害者就労支援センターでは「あなたにとってのはたらくとは？」という質問を様々な方に投げかけていきたいと考えております。

障害のある方の就職活動を応援するために  
**センターでは、こんなことやってます！**

# 就職活動サポート講座

4～8月のサポート講座実施状況

特別支援学校向け	2回
就労移行支援事業所向け	2回
企業見学会	2回

7月24日（日） 支援学校向け宮城野区内障害福祉サービス事業所の合同説明会を行いました！

場 所：仙台市宮城野障害者福祉センター

対 象 者：宮城野区内在住の特別支援学校の生徒、保護者、教職員

参加人数：32名

支援学校卒業後の連携を図るために仙台市障害者就労支援センターの役割についてみなさんにお話ししてきました。各支援学校の先生、生徒さん、保護者、各支援センターの方と直接お会いしてお話ができ、地域の相談支援事業所と連携して支援していく大切さを知る機会となりました。



9月6日（火） ふれあいワークフェア2011 支援者向け対策講座を行いました！

場 所：ハローワーク仙台 仙台MTビル5階 大会議室

対 象 者：仙台市内の障害者福祉関係機関において就労支援に携わっている支援者

参加人数：30人

講座内容：●ふれあいワークフェア2011 障害者就職面接会の概要について

ハローワーク専門援助第二部門 統括職業指導官佐々木逸郎氏

●支援者に期待すること(具体的な対応について)

ランスタッド株式会社 チャレンジド事業推進室マネージャー 根本教行氏

講座のほか実際に面接の場面を想定してロールプレイが行われました。

ロールプレイでは、グループにわかれ①企業担当者(面接官)、②支援者、③観察者、④応募者とそれぞれ役割を変えて行いました。

参加していただいた方からは、「一般企業の参加状況(どのような企業が参加され、実際に障害者の方がどれくらい就職に結びついたかなど)を知ることができた。」「具体的なロールプレイ(支援者の面接同席)ができ参考になった。今後も活用したい。」などの感想が聞かれました。今回のふれあいワークフェア2011 支援者向け対策講座では、支援者の率直な意見や質問をいただき、次回の支援者向け対策講座に活かしていきたいと思っております。



# 連絡会議、開催しました！



## 平成23年度第1回 ジョブコーチ連絡会議

日時：8月25日（木）17：00～19：00

場所：仙台市泉区役所東庁舎5階 大会議室

参加者：16名

内容： ジョブコーチ連絡会議の目的や今後の進め方を確認しました。参加者の方々からは、お互いの支援の現場の話をし、充実した交流が出来たと好評でした。

今後については、組織や立場を超えて、仙台圏域でのジョブコーチ（職場適応援助者）のネットワークを形成し、スキルアップ研修と情報交換の場として広げていく予定です。

次回は、事例検討を中心に開催予定です。

## 平成23年度第5回就労先・実習先開拓担当者連絡会議

日時：8月26日（金）17：00～19：20

場所：仙台市泉区役所東庁舎5階大会議室

参加者：16名

内容： ハローワーク関係機関連絡会議での情報を各事業所の担当者と共有すること、また職場開拓における問題、課題を共有し解決することで支援力の向上と連携を深めることを目的としています。今回は「ふれあいワークフェア2011」の事前情報の共有や各事業所の利用者の求職状況についての報告がありました。



## 平成23年度第1回 高次脳機能障害者就労支援連絡会議

日時：8月31日（水）16：00～18：00

場所：アーバンネット勾当台ビル7階会議室

参加者：50名

内容： 関係機関の皆様に向けて2名の講師の方から講話を頂きました。仙台市障害者更生相談所の岩松氏より「高次脳機能障害の基本的理解」について、NPO法人ほっぷの森 佐々木氏より

「高次脳機能障害者への就労支援のポイント」をテーマに、それぞれお話いただきました。アンケートではほとんどの方から「自分の知りたい内容だった」「もっと知りたくなった」とのご意見を頂きました。

次回は11月の予定です。今回の講話を踏まえ、更に充実した高次脳機能障害の方の就労支援につながればと考えています。



# ～報告～

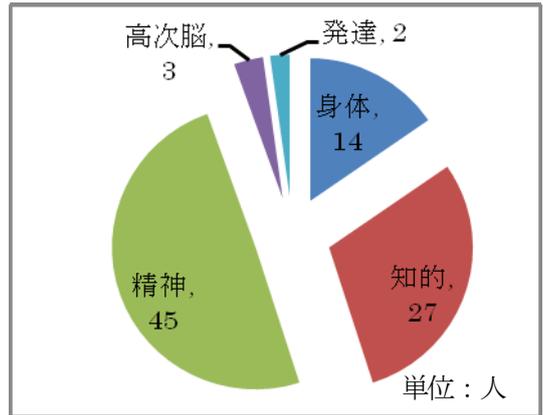
## 平成22年度 福祉施設から一般企業へ

### 就労した方は91名でした。

仙台市内の障害者福祉サービス事業所に対し平成22年度に「福祉施設から一般就労」した障害のある方の調査を行い、仙台市では91名の方が就労したことがわかりました。障害のある方も、施設や病院ではなく地域で暮らしていく時代です。障害があるという理由で、保護やお世話を受けるのではなく、地域社会で生きるための自立とその権利を保障する社会が求められています。

社会の一員として働くことはとても大事なことです。仙台市障害福祉計画では、今年度の目標を76名としていますが、これからよりいっそう計画を上回る成果を上げられるよう、障害者の就労への理解をお願いしてきたいと思います。

福祉施設から一般就労した方の障害種別内訳



※仙台市障害者就労支援センター支援者のうち在宅者は除く

## 仙台市障害者就労支援センター利用案内

利用時間 :

	月曜日～金曜日	土・日・祝
窓口での相談	8:30～17:00	休み
電話相談・移動相談	8:30～19:30	8:30～17:00

※ 年末年始（12/29～1/3）は休みとなります。

※ 土日祝日は各区にある障害者福祉センターなどにおいて「移動相談窓口」を設けます。

日程等は、市政だよりに掲載しています。または仙台市障害者就労支援センターへお問い合わせください。

■ 相談方法 : 来所・電話・FAX・Eメールにて受け付けております。

※来所は原則として予約制です。

■ 費用 : 相談・支援サービスは無料です。

※ 実習等にかかる交通費、食事代等は実費負担があります。

■ 対象となる方：仙台市にお住まいの15歳以上の障害のある方(在学中の方を除く)で就労希望もしくは就労中の方。

※ ご家族・事業主様からの相談もお受けします。 ※ 障害者手帳の有無は問いません。

発行：仙台市障害者就労支援センター

(指定管理者：財団法人仙台市障害者福祉協会)

〒981-3133

仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階

電話 : 022-772-5517

FAX : 022-772-5519

Eメール：[info@sendai-wsc.jp](mailto:info@sendai-wsc.jp)

HP : <http://www.sendai-wsc.jp>



編集後記

今年の夏も猛暑となりましたが、段々と過ごしやすい季節となってきました。当センターの機関誌を読んでいただくことにより様々な就労に関する話題や情報を提供できるよう紙面づくりに努めて参ります。今後もよろしくお願いたします。(機関誌編集委員一同)